

3 ミズナの作期別品種比較試験

試験の目的

旭川青果物生産出荷協議会みずな部会では「早生千筋京水菜」を基幹品種としていますが、近年は市場から主に夏期の品質等についての課題を指摘されています。そこで品種の切り替えを検討するにあたり、市内での栽培に適する品種を模索するため品種比較試験を実施しました。

関係先

旭川青果物生産出荷協議会 みずな部会（以下「部会」と表記）

試験作期等

	作期1	作期2	作期3
は種	6月6日	7月25日	9月6日
定植	6月16日	8月3日	9月20日
は種方法	406穴ペーパーポット1穴1粒まき		
栽植密度等	条間15cm×株間15cm=4,444株/a, 雨よけハウス栽培, 2反復有孔マルチ使用(マルチ色:作期1・2=黒, 作期3=銀ネズ)		

供試品種 (3作期共通)

No.	名称	販売元	No.	名称	販売元
標準	早生千筋京水菜	丸種	5	CR菜澄	寺岡種苗園
1	水竜	カネコ種苗	6	水菜月	トーホク
2	鮮白	コハタ	7	みずみずしい菜	武蔵野種苗園
3	SC8-312	サカタのタネ	8	京美人	渡辺農事
4	京かなで	タキイ種苗			

調査方法

(1) 調査項目

- ア 育苗状況調査：発芽状況，定植時苗質
- イ 生育調査：収穫期(部会M規格)までの日数，障害の状況など
- ウ 収量調査：規格別株数割合，1aあたり規格内収量
- エ 特性調査：M規格株一株重，草姿，葉幅，葉色，葉の反り，作業性など
- オ 収穫後品質調査：収穫から一定期間経過後の品質(葉の黄化程度など)

(2) 評価

標準「早生千筋京水菜」で指摘される課題を克服し得る特性が認められた品種を，有望品種としました。具体的には，次のとおりです。

- ・出荷後の品質低下(葉の黄化等)が生じにくいこと。
- ・一定の収量性を有すること。
- ・作業性が良いこと。
- ・夏期に生じやすい生理障害等の発生が少ないこと。

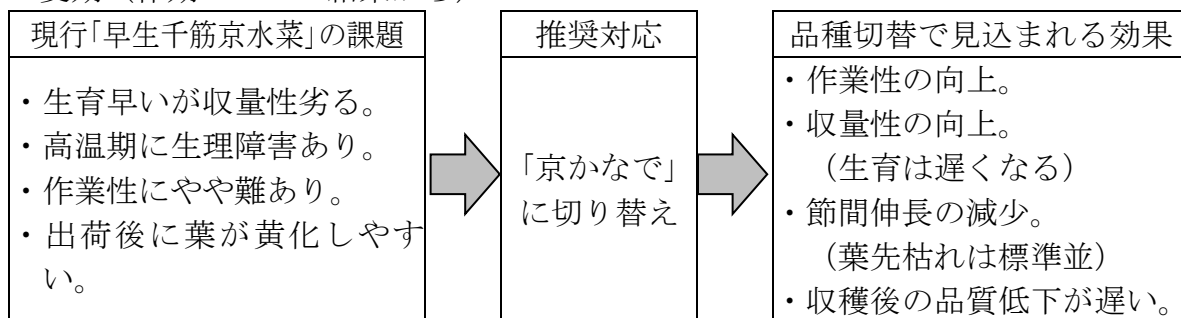
試験結果

(1) 3作期の試験栽培を通じて得られた主な品種特性

名称	長所	難点
早生千筋京水菜	・ 冷涼期は生育早く、かつ、多収。	・ 夏期は生育早く、低収。 ・ 夏期は収穫後に葉が黄化しやすい。
水竜	・ 生育が(供試品種では)最も早い。	・ 収量性は劣る。 ・ (今回用いた試験用種子は)発芽劣る。
鮮白	・ 葉色がやや濃い。 ・ 葉が反りにくく、見た目が良い。	・ 高温期は株元の節間伸長あり。 ・ 発芽が若干弱い。(発芽率90%程度)
SC8-312	・ 株張りが良く、多収。	・ 作業性に難がある。 ・ 定植後に倒れやすい。(胚軸が長い)
京かなで	・ 収穫、調製ともに極めて容易。 ・ 高温期でも葉が反りにくい。	・ 冷涼期には適さない。 ・ 葉先枯れに注意を要する。
CR菜澄	・ 株張りが良く、多収。 ・ 根こぶ病抵抗性を有する。	・ 収穫後の葉の黄化が早い。 ・ 異形株が他品種よりやや多い。
水菜月	・ 葉幅、葉軸が細く、見た目が良い。 ・ 収穫、調製ともに容易。	・ 収量性はやや劣る。 ・ 葉先枯れに注意を要する。
みずみずしい菜	・ 葉幅、葉軸が細く、見た目が良い。	・ 発芽が劣り、生育がばらつく。 ・ 葉が反りやすい。
京美人	・ 葉幅、葉軸が細く、見た目が良い。	・ 葉が反りやすい。

(2) 部会への提案内容

ア 夏期(作期1・2の結果から)



イ 秋期(作期3の結果から)

標準「早生千筋京水菜」は、夏期に見られる課題が冷涼期にはあまり見られず、むしろ生育の早さや収量性で利点があったことから、他の品種へ変更する必要性は低いと考えられました。

参考：調製前後の比較写真(作期2)

早生千筋京水菜

京かなで



調製前

調製後



調製前

調製後